

平成24年度技術士第二次試験問題【経営工学部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 平成23年3月11日におきた東日本大震災は、地震とそれに伴う津波により東北地方を中心に甚大な被害をもたらすとともに、その後の社会活動や企業活動へも大きな影響を及ぼした。これまでもリスク回避の観点から事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の必要性が示されてきたが、大震災を契機として一層その重要性が増大している。BCPは経営工学の観点からも重要なかわりをもっており、その視点から次に示す5問題のうち、1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－1 次の問いに答えよ。

- (1) BCPについて、300文字以内で説明せよ。
- (2) 生産マネジメントにおいて、BCPを実際に確立していくためには、どのようなことを検討する必要があるのか、具体的な事例を挙げて説明せよ。

Ⅱ－2 経済産業省が平成20年9月に策定したITサービス継続ガイドラインでは、“情報処理技術やネットワーク技術の発達と低コスト化が進む中で、現代の社会経済は、情報技術（IT）を活用することで、時間・空間を超えたサービス・商品の提供や、業務の効率性向上、意思決定支援などの分野での利便性を享受している”としており、BCPを策定する上でもITサービスの継続性は重要となっている。次の問いに答えよ。

- (1) BCPについて、300文字以内で説明せよ。
- (2) 自然災害を想定した全社BCPとITサービス継続計画の連携方法とその課題について、リスクマネジメントの視点から述べよ。

Ⅱ－3 次の問いに答えよ。

- (1) BCPについて、300文字以内で説明せよ。
- (2) ロジスティクス（物流、包装及び流通加工を含む。）やサプライチェーンマネジメントにおいて、BCPを実際に確立していくためには、どのようなことを検討する必要があるのか、具体的な事例を挙げて説明せよ。

Ⅱ－４ 今日、企業の事業活動では、情報システムやネットワークの稼働が不可欠である。

このため、大規模災害等により情報システムやネットワークに障害が生じた場合に、BCPを策定していない企業では、生産活動やサービス提供が不可能な状況に追い込まれる可能性がある。

(1) BCPについて、300文字以内で説明せよ。

(2) 具体的な事例を想定し、BCP策定の際に、情報の管理及び情報システムの面から考慮すべき問題点や課題を示し、その問題点や課題への対応策を述べよ。

Ⅱ－５ 次の問いに答えよ。

(1) BCPについて、300文字以内で説明せよ。

(2) 緊急時には財務上の手当ても必要となる。この点から、金融工学とBCPのかかわりについて述べよ。